

第7回 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験協議会 議事要旨

1. 開催日時：令和8年10月 1日（木）13：00～14：00
2. 開催場所：国土交通省 近畿地方整備局 6階
3. 出席者：国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 事務所長＜会長＞
大阪府警本部 交通部 交通規制課 規制担当管理官
大阪市 環境局 環境施策部 エネルギー政策担当課長
大阪市 計画調整局 計画部 交通政策課 課長（WEB出席）
大阪市 建設局 総務部 管理課 課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 路政課 課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長
梅田2丁目振興町会 副会長（代理出席）
西阪神桜橋商店会 会長
福島連合振興町会 相談役（代理出席）
東天満1・2丁目振興町会 会長
タイムズモビリティ株式会社 広域開発部 部長（代理出席）
タイムズモビリティ株式会社 タイムズプラットフォームサービス推進本部
タイムズプラットフォームサービス営業部 次長
4. 議事
 - （1）協議会規約改正
 - （2）社会実験内容
 - （3）効果検証（中間報告）
5. 議事要旨
 - 協議会規約改正
 - ・ 委員の役職名の変更に伴う規約改正が承認された。

○社会実験内容

- ・ 事務局より、令和８年１月から開始された社会実験Ⅱ期について、概要を説明した。
なお、今後の検証結果等を踏まえ、社会実験期間の終了時期を前倒しする可能性があることを共有した。

○効果検証（中間報告）

- ・ 事務局より、効果検証（中間報告）について説明した。

【主な意見】

- ・ EV 路上カーシェアリングは概ね１日１回以上利用されている状況である。路外ガソリン車のカーシェアリングと比較すると稼働率が若干低いようだが、どのような評価をされているか。【国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課長】
⇒単純比較をすると EV 路上カーシェアリングの方が、稼働率が低い状況であるが、その差をどのように評価するか、引き続き調査・分析を深めていく。【事務局】
- ・ 路上カーシェアリングの社会実験は東京から始まり、全国でも数箇所実施しており、道路空間の有効活用という観点から、有用性を証明できたと考えている。路上ステーションで EV の乗用車を導入するのは本社会実験が初めてである。EV 車両の認知も年々高まってきており、利用への抵抗は今後低減していくと考えている。しかし、路上でカーシェアを展開するにあたっては、整備費用やコスト面でのハードルが非常に高く、水平展開をするには課題が残ると考えている。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】

以 上